

気仙沼市本吉町小泉地区を対象として開催した災害復旧事業説明会概要

件名	東日本大震災による公共土木施設災害復旧事業説明会(津谷川・中島海岸)
日時	平成 25 年 9 月 24 日(火) 18:30 ~ 21:00
場所	小泉小学校 体育館
出席者	気仙沼市本吉町5地区(小泉東・小泉西・小泉下町・小泉仲町・小泉新町)と地権者 出席住民 約100人
内容	<p>1. 説明会の目的</p> <p>小泉地区には3者(仙台河川国道事務所, 気仙沼市建設部, 県土木事務所)が各々管理する国道, 市道・市道橋, 河川・海岸の公共土木施設あり, 昨年の大震災により甚大な被害を受けたため, 災害復旧事業申請を行い, 現在は施設復旧の設計を進めています。また, 三陸自動車道の事業も行われております。</p> <p>昨年10月16日に小泉地区で災害復旧の説明会を開催しましたが, 今回は前回の説明会からの変更点を中心に説明を行い, 地域住民並びに地権者の方々に各事業への御理解と御協力を求めました。</p> <p>2. 住民からの質問・意見</p> <ol style="list-style-type: none">7月の新聞記事で防潮堤建設について合意したとあったが何をもって住民合意が得られたのか。津谷川河口付近でハゼ・ウナギ・カニ等が捕れた。14.7mの防潮堤ができた時に, 昔の環境は戻ってくるのか。防潮堤で何を守るのか。作ったら補修が必要でないのか。河口部を狭くするが, サケ等の遡上が有った場合, 大丈夫か。 河口の土砂撤去は申請すればいいのか。今の設計で進めるならみんなが見に来る様な日本一の防潮堤を作って欲しい。 <p>3. 気仙沼土木事務所からの回答</p> <ol style="list-style-type: none">昨年7月と10月の説明会で異論等無かったので合意が得られたと考えています。環境アドバイザーに相談しており, 生物の影響には配慮します。 被災により地形が大きく変わりましたが, 砂浜が流失したが, 徐々に戻りつつあります。今回整備するL1堤防で県民の生命・財産・道路・農地等を守ります。 点検をしながら長寿命化を図ります。河口閉塞しない形で導流堤を設計していますので, サケの遡上にも大丈夫だと思います。土砂撤去は申請してもらえばできます。

